

《介護研究発表会》



2014. 2.22

今年で13回を迎えた『寿泉堂香久山病院院内研究発表会』では、全病棟から計5題の看護・介護研究成果が発表されました。

それぞれの病棟で行っていることを題材に、褥瘡予防、足浴の効果、患者スケジュールの共有、拘縮予防、外出に向けた取り組み、など興味深い内容でした。

発表後の質疑応答では多数の質問や意見交換ができ、今後の患者さんのより快適な入院生活について考える良い機会になりました。

《褥瘡と栄養研修会》



講師
アボットジャパン
庄田 氏

2014. 2.13

アボットジャパン株式会社の庄田氏を講師に招き、「褥瘡と栄養」について研修会を開催しました。

褥瘡治療にはなぜ栄養が必要か、栄養が不足すると褥瘡になりやすくなり、また治りにくくなるため、タンパク質、ビタミン、ミネラルなどをバランスよく補うことが大切です。特に高齢者は味覚の低下や摂食障害、食べ物をうまく飲み込めないなどの原因によって栄養不足になりやすく、体の状態を定期的に確認することが重要といった説明があり、褥瘡について再認識しました。

●家庭医学講座● 《運動器不安定症を知って》



2014. 2.20

今回の家庭医学講座は、高齢化により、バランス能力や移動歩行能力の低下が起きて、自宅への閉じこもりや転倒のリスクが高くなる「運動器不安定症」について学びました。

歩行の際ふらついてしまい転びやすい、関節に痛みがあつてよける、少し転んだだけで骨折してしまうといった転倒事例を挙げ、実際に片足立ちやスクワットなど頑張りすぎず、無理のない範囲で自分のペースで行う予防体操を行いました。参加した高齢者の方には予防体操の実体験を生かし、これからも健康な暮らしを続けていきたいと思います。